



1. 令和3年度青山地区自主防災訓練について

11月28日(日)青山公民館体育館に於いて青山地区自主防災訓練を実施致しました。参加人数は、各丁目からの一般参加者の他に、まちづくり協議会2名、三木防災リーダーの会(防災士)2名、公民館2名、小学生6名を含む約70名でした。

新型コロナウイルスの感染拡大状況が予測できず中止になることも予想されたため例年とは違った形での防災訓練を行いました。テーマを「災害発生から避難所運営まで」と定め、まず三木ジュニア防災クラブに所属する高校生による司会の下で長野県千曲川決壊現場、宮城県名取市、石巻市で災害復興支援ボランティアについての映像を鑑賞しました。次に8名程度のグループに分かれ、公民館内の防災資機材・非常食の保管場所を確認した後に避難所設営ワークショップを行いました。三木防災リーダーの会所属の防災士の指導の下でメンバーが力を合わせて段ボールベッド、パーティションの設営、マンホールトイレの設置を行いました。最後に災害時要援護者支援について、特に聴覚障害者に対する支援についての説明がありました。訓練終了後に非常食(カレーライス)試食を行いました。午前9時30分～正午までの2時間半でしたが密度の濃い訓練となりました。

実施後アンケートでは、避難所設営を実際に体験できてよかった、公民館の資機材・非常食の保管場所を確認できたよかったというワークショップ形式を評価する意見が多くみられました。若い力に期待しますという三木ジュニア防災クラブに向けての励ましのお言葉もありました。カレーライスがおいしかったという意見も多数見受けられ、寒い日でしたので暖かい非常食はかなり喜んでいただけたようです。新型コロナ禍に対応した自主防災訓練でしたが、来年度の訓練に参考になる有意義な訓練であったと思います。



(裏面につづく)